

駅・営業

駅

駅を快適な空間として、お客さまに気持ちよくご利用いただくために、さまざまな改善を行っています。

●自動改札の導入

○自動改札導入のあゆみ

1990.	4	首都圏に新型の在来線自動改札システムを導入
1991.	3	ストアードフェアシステム(イオカード直接投入可能)を採用
1997.	10	新幹線自動改札システムを導入開始
2001.	11	首都圏在来線にICカード(Suica)出改札システムを導入
2002.	12	仙台エリアに在来線自動改札システムを導入
2003.	10	首都圏新幹線および仙台エリアにICカード(Suica)出改札システムを導入
2004.	4	地方拠点駅に在来線自動改札システムを導入開始
2004.	11	新潟エリアに在来線自動改札システムを導入
2006.	1	新潟エリアにICカード(Suica)出改札システムを導入

■活性化駅一覧

駅名	線区名	竣工年月	合築施設
穂八	大糸線	1988. 1	アートギャラリー
大白	外房線	1988. 9	公民館 図書館
院川	只見線	1988. 12	総合観光案内所 レストラン
ほっとゆだ	奥羽本線	1989. 3	郷土資料館 コミュニティホール
ゆだ高原	北上線	1989. 3	温泉会館 コンビニエンスストア
船岡	北上線	1990. 3	公民館
刈野	東北本線	1990. 8	コミュニティプラザ ギャラリー
上小川	奥羽本線	1990. 10	コミュニティセンター 商工会館
越後片貝	水郡線	1990. 12	集会所 図書館
福生	米坂線	1991. 2	ふるさと会館
岩沢	青梅線	1991. 3	ギャラリー
塩川	北上線	1991. 3	集会所
神保	磐越西線	1991. 3	コミュニティホール 集会室
鳴子温泉	磐越東線	1991. 5	観光案内所 コミュニティルーム
下野宮	陸羽東線	1991. 12	円形劇場 観光案内センター
須賀川	水郡線	1992. 2	集施設
木造	東北本線	1992. 3	観光物産館
天童	五能線	1992. 5	コミュニティプラザ 観光案内所
高畠	奥羽本線	1992. 9	観光物産館
かみのやま温泉	奥羽本線	1992. 10	公衆浴場
上野尻	奥羽本線	1992. 10	コミュニティプラザ
舟形	磐越西線	1992. 12	農協
水郷	奥羽本線	1993. 3	物産館 診療所
布佐	成田線	1993. 5	コミュニティセンター
赤湯	成田線	1993. 7	集施設
山方	奥羽本線	1993. 8	観光物産センター
磐城	水郡線	1993. 9	集会所 図書館
米沢	水郡線	1993. 10	図書館 物産コーナー
桑川	奥羽本線	1993. 11	観光案内センター 物産展示コーナー
東海	羽越本線	1993. 11	観光物産センター ギャラリー レストラン
戸狩野沢温泉	常磐線	1993. 12	多目的ホール ギャラリー
三春	飯山線	1993. 12	観光案内所
西金	磐越東線	1994. 3	イベントスペース 物産館
富浦	水郡線	1995. 2	集会所
津南	内房線	1995. 3	コミュニティ施設
大谷海岸	飯山線	1995. 3	温泉コミュニティセンター
鹿渡	気仙沼線	1995. 10	物産館 アクアリウム
矢吹	奥羽本線	1995. 10	観光物産情報館 ミニシアター
和田浦	東北本線	1995. 10	コミュニティプラザ
羽前	内房線	1995. 12	ギャラリー
八幡	米坂線	1995. 12	農協
野蒜	内房線	1995. 12	ギャラリー
玉川	仙石線	1996. 3	インフォメーションセンター
相野々	水郡線	1996. 3	町事務室 多目的ホール
野木	北上線	1996. 6	コミュニティ施設
津軽二股	水郡線	1996. 9	農協
岩井	津軽線	1996. 12	観光情報センター
田沢	内房線	1997. 3	展示室
栗石	田沢湖線	1997. 3	観光情報センター
角館	田沢湖線	1997. 3	観光案内センター 図書館
	田沢湖線	1997. 3	物産展示

●駅数

(2017年4月1日現在)

駅数	1,666駅（貨物駅5含む）
----	----------------

●自動改札導入状況

(2017年3月31日現在)

◇ 在来線	
●自動改札導入駅数	524駅 704改札口
●自動改札通路数	3,904通路
●自動精算機台数	884台
◇ 新幹線	
●自動改札導入駅数	55駅 84改札口
●自動改札通路数	255通路
●自動精算機台数	15台

(2017年3月31日現在)

駅名	線区名	竣工年月	合築施設
磯原	常磐線	1997. 8	市出張所 コミュニティホール
佐久平	長野新幹線	1997. 9	観光案内所 物産店
飯岡	総武本線	1997. 10	イベントホール
大曲	奥羽本線	1997. 12	インフォメーションホール
常陸鴻巣	水郡線	1998. 3	集会室 オープンギャラリー
金浦	羽越本線	1998. 3	コミュニティホール 図書館
双葉	常磐線	1998. 8	コミュニティホール アートギャラリー
下総神崎	成田線	1998. 10	展示室
陸奥鶴田	五能線	1999. 2	コミュニティプラザ 展示場
さくらんぼ東根	奥羽本線	1999. 12	図書館 観光案内 情報サービス 物産展示
村山	奥羽本線	1999. 12	市民ホール 企画展示ギャラリー 観光案内
大石田	奥羽本線	1999. 12	店舗(そば屋) 企画展示ギャラリー
新庄	奥羽本線	1999. 12	映画館 体験館 コミュニティホール レストラン 会議室
摺沢	大船渡線	2000. 3	多目的ホール
大釜	田沢湖線	2000. 3	集会所
羽後岩谷	羽越本線	2000. 3	コミュニティホール 事務室
飯倉	総武本線	2000. 12	コミュニティ施設
仁賀保	羽越本線	2001. 6	多目的ホール 観光センター
北常盤	奥羽本線	2001. 12	コミュニティホール 展示室
寒河江	左沢線	2002. 2	展望コーナー
左沢	左沢線	2002. 2	交流センター
七日町	只見線	2002. 7	店舗(喫茶店) 物産コーナー
南三原	内房線	2003. 2	多目的ホール 旅客トイレ
和田	奥羽本線	2003. 2	ふれあい交流室 観光情報ホール 売店
古里	青梅線	2003. 2	コミュニティセンター
羽後境	奥羽本線	2004. 2	公衆トイレ
森宮野原	飯山線	2004. 3	交流室 展示室
金ヶ崎	東北本線	2005. 2	観光情報ホール 農協 売店
滑河	成田線	2005. 2	多目的ホール
八街	総武本線	2005. 3	コミュニティスペース
西若松	只見線	2005. 11	展示ホール
奥多摩	青梅線	2006. 4	ギャラリー 店舗(そば屋)
前沢	東北本線	2006. 5	店舗(喫茶店)
千倉	内房線	2007. 8	観光案内所 待合室 会議室
遊佐	羽越本線	2008. 2	複合交通センター 観光案内所 多目的交流研修室
神宮寺	奥羽本線	2008. 7	交流センター
羽後長野	田沢湖線	2009. 3	市民交流センター 旅客通路 旅客多機能トイレ
浪岡	奥羽本線	2010. 3	地域交流センター 多目的ホール
佐原	成田線	2011. 3	観光交流センター 旅客トイレ
常陸太田	水郡線	2011. 7	観光案内所 旅客トイレ 待合所
用土	八高線	2012. 11	コミュニティホール
後三年	奥羽線	2013. 1	展示コーナー
藤崎	五能線	2013. 11	展示コーナー
女菅	水郡線	2014. 3	情報発信スペース
上川	石巻線	2015. 3	公衆浴場 ギャラリー 交流スペース
湯沢	奥羽本線	2015. 10	観光案内施設
大久保	奥羽本線	2015. 12	ギャラリー
安達	東北本線	2016. 2	コミュニティ施設
石和温泉	中央本線	2016. 3	観光案内所
石岡	常磐線	2016. 3	観光案内所
羽後飯塚	奥羽本線	2016. 12	ギャラリー

■ 駅名改称一覧

(2017年4月1日現在)

期日	線名	旧駅名	新駅名	記事
1988. 3. 13	東北本線	二枚橋	花巻空港	
	花輪線	岩手松尾	松尾八幡平	
		龍ヶ森	安比高原	
	仙山線	面白山	面白山高原	
1990. 3. 10	総武本線	越中島	越中島貨物	貨物駅
1990.12. 1	日光線	下野大沢 (しもづけおおさわ)	下野大沢 (しもつけおおさわ)	
	烏山線	下野花岡 (しもづけはなおか)	下野花岡 (しもつけはなおか)	
1991. 3. 16	奥羽本線	糠ノ目	高畠	
		大鰐	大鰐温泉	
	津軽線	三厩(みうまや)	三厩(みんまや)	
1991. 6. 20	北上線	陸中大石	ゆだ錦秋湖	
		陸中川尻	ほっとゆだ	
		岩手湯田	ゆだ高原	
1991.12. 1	吾妻線	長野原	長野原草津口	
		川原湯	川原湯温泉	
1992. 3. 14	京葉線	千葉港	千葉みなと	
1992. 7. 1	奥羽本線	上ノ山	かみのやま温泉	
		北上ノ山	茂吉記念館前	
1993. 4. 1	中央本線	石和	石和温泉	
		勝沼	勝沼ぶどう郷	
		初鹿野	甲斐大和	
		別田	春日居町	

期日	線名	旧駅名	新駅名	記事
1994. 3. 12	鹿島線	北鹿島	鹿島サッカースタジアム	
1994.12. 3	常磐線	平	いわき	
	山田線	浪板	浪板海岸	
1995.12. 1	花輪線	陸中花輪	鹿角花輪	
		湯瀬	湯瀬温泉	
1997. 3. 22	気仙沼線	大谷	大谷海岸	
	陸羽東線	上岩出山	西大崎	
		西岩出山	上野目	
		川渡	川渡温泉	
		東鳴子	鳴子御殿湯	
		鳴子	鳴子温泉	
1999.12. 4	奥羽本線	中山平	中山平温泉	
		蟹沢	さくらんぼ東根	
	陸羽東線	楯岡	村山	
		羽前向町	最上	
		羽前赤倉	赤倉温泉	
		瀬見	瀬見温泉	
2000.12. 2	五能線	陸奥黒崎	白神岳登山口	
2002.12. 1	八戸線	種差	種差海岸	
2004. 3. 13	常磐線	川尻	十王	

■ 新駅の設置

● 新駅設置の状況

(2017年4月1日現在)

年度	駅 名	駅数
1987	古淵、青山	2
1988	玉戸、大和、逢隈、東照宮、美里、新木場、葛西臨海公園、舞浜、新浦安、市川塩浜、二俣新町、北上尾	12
1989	万石浦、くりこま高原、八丁堀、越中島、潮見	5
1990	ガーラ湯沢、葛岡、さつき野、成田空港	4
1991	小野上温泉	1
1992	空港第2ビル	1
1995	井川さくら、有備館	2
1997	八王子みなみ野、今井、佐久平、あきた白神、安中榛名、軽井沢、上田、上越国際スキー場前、ひたち野うしく、紫波中央、東松戸	11
1998	前橋大島	1
1999	あおば通	1
2000	さいたま新都心	1

年度	駅 名	駅数
2001	国府多賀城、岩城みなと、ウェスバ椿山	3
2002	いわて沼宮内、二戸	2
2003	本庄早稲田、小鶴新田	2
2004	高崎問屋町、内野西が丘	2
2006	東北福祉大前、太子堂、平田	3
2007	越谷レイクタウン	1
2008	西府、西大宮	2
2010	七戸十和田	1
2011	吉川美南	1
2014	上越妙高、天童南	2
2015	小田栄、石巻あゆみ野	2
2017	郡山富田	1

■ 営業諸元

● みどりの窓口設置駅数の推移

(2017年3月31日現在)

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
駅数	677	671	608	592	574	556	534	519

● 発売機設置台数

(2017年3月31日現在)

	駅 数	台 数
自動券売機	965	1,853
指定席券売機	480	1,218
多機能券売機	493	998

● 旅客運賃改定の変遷

運賃改定日	改定率(%)	記 事	最低運賃(円)
1966. 3. 5	32.3		20
1968. 4. 1	5.4	定期運賃のみ改定	20
1969. 5.10	15.9		30
1974. 10.1	23.2		30
1976. 11.6	50.4		60
1978. 7. 8	16.4	料金のみ改定(1978.10) 通学定期割引率修正(1979.1)	80
1979. 5.20	8.8		100
1980. 4.20	4.5		100
1981. 4.20	9.7	通学定期割引率修正(1981.7)	110
1982. 4.20	6.1	通学定期割引率修正(1982.9)	120
1984. 4.20	8.2		130(120)
1985. 4.20	4.4	通学定期割引率修正(1985.9)	140(120)
1986. 9. 1	4.8		140(120)
1989. 4. 1	2.9	消費税導入にともなう運賃・ 料金改定	140(120)
1997. 4. 1	1.9	消費税率変更にともなう運賃・ 料金改定	140(130)
2014. 4. 1	2.9	消費税率変更にともなう運賃・ 料金改定およびIC運賃の導入	きっぷ140(140) IC 144(133)

注) :最低運賃欄の()内は、電車特定区間の運賃です。

● さまざまな自動券売機類



● 料金改定の変遷 (主なもの)

お客さまにわかりやすく、利用しやすい料金体系に改定することで、通勤・通学を含め気軽に特急列車やグリーン車をご利用いただけるようにしました。

料金改定日	改定内容	料金額
2001. 12. 1	首都圏のB特急料金を改定	自由席(50キロまで) 500円 指定席(50キロまで) 1,010円
2002. 12. 1	東日本管内のB特急料金を改定	自由席(50キロまで) 500円 (100キロまで) 900円 (150キロまで) 1,300円 指定席(50キロまで) 1,010円 (100キロまで) 1,410円 (150キロまで) 1,810円
	東日本管内の特急・急行のグリーン料金(A)を改定	(100キロまで) 1,000円 (200キロまで) 2,000円 (300キロまで) 3,000円 (301キロ以上) 4,000円
2004. 10. 16	首都圏の普通列車に特定のグリーン料金(B)を設定	平日料金 事前料金(50キロまで) 750円 (51キロ以上) 950円 車内料金(50キロまで) 1,000円 (51キロ以上) 1,200円 ホリデー料金 事前料金(50キロまで) 550円 (51キロ以上) 750円 車内料金(50キロまで) 800円 (51キロ以上) 1,000円
2005. 12. 10	成田エクスプレスのグリーン料金を改定	(200キロまで) 2,000円
	成田エクスプレス、スーパービュー踊り子の個室・グリーン料金を改定	1室あたり 6,000円 ※不足人員分は小児運賃・特急料金を収受しない
2010. 12. 4	東日本管内の特急・急行のグリーン料金(A)を改定	(400キロまで) 4,000円 (500キロまで) 4,000円 (600キロまで) 4,000円 (700キロまで) 4,000円 (701キロ以上) 5,000円
	グランクラス料金を設定	(100キロまで) 6,000円 (200キロまで) 7,000円 (300キロまで) 8,000円 (400キロまで) 9,000円 (500キロまで) 9,000円 (600キロまで) 9,000円 (700キロまで) 9,000円 (701キロ以上) 10,000円
2012. 3. 17	「なすの」のグランクラス料金を設定	(100キロまで) 4,000円 (200キロまで) 5,000円 (300キロまで) 6,000円 (400キロまで) 7,000円 (500キロまで) 7,000円 (600キロまで) 7,000円 (700キロまで) 7,000円 (701キロ以上) 8,000円
2015. 3. 14	「ひたち」「ときわ」「スワローあかぎ」の特急料金を改定	指定席 事前料金(50キロまで) 750円 (100キロまで) 1,000円 (150キロまで) 1,550円 (200キロまで) 2,200円 (300キロまで) 2,500円 車内料金(50キロまで) 1,010円 (100キロまで) 1,260円 (150キロまで) 1,810円 (200キロまで) 2,460円 (300キロまで) 2,760円

※料金については改定または設定当時のもの

■インターネットサービスポータルサイト「えきねっと」

「えきねっと」は、(株)JR東日本ネットステーションが運営しているJR東日本のインターネットサービスポータルサイトです。「えきねっと会員」になることで、パソコンやスマートフォン・携帯電話からJR券申込サービスを利用でき、指定席、自由席に加え、乗車券も予約が可能で、きっぷの受取りは、申込み時に登録したクレジットカードと申込み時に付与される予約番号だけで可能です。リアルタイムで最新の情報

をご案内できるインターネットのメリットを活かし、時期・区間・列車ごとのご利用状況に応じた柔軟な割引商品を提供しています。また、(株)びゅうトラベルサービスが企画・実施する旅行商品の予約も可能です。予約した旅行のチケットは、駅の指定席券売機で受け取りが可能なので、びゅうプラザに来店する必要はありません。

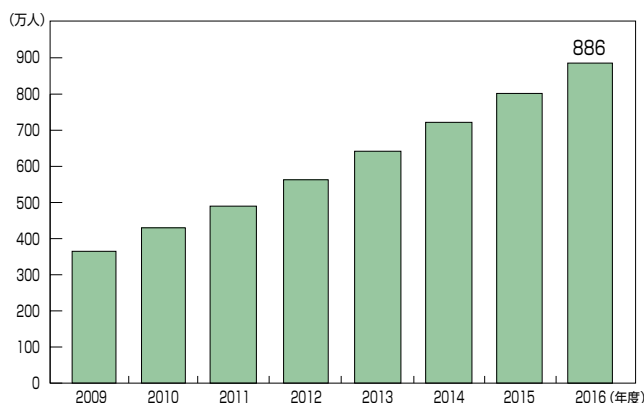
会員数は2017年3月末時点で約886万人です。

※詳しくは「www.eki-net.com」



「えきねっと」ホームページ(2017年6月現在)

○えきねっと会員数の推移



●予約サービス

JR券申込サービス	
パソコン・スマートフォンからのJR券申込	・全国の新幹線や特急列車等の指定席・自由席・乗車券が申込みできます。またスマートフォンでは、「ひたち」「ときわ」「成田エクスプレス」「あかぎ」「スワローあかぎ」のえきねっとチケットレスサービスの申込みができます。
携帯電話からのJR券申込	・新幹線(九州除く)、「中央線特急」、「常磐線特急」、「成田エクスプレス」、「あかぎ」、「スワローあかぎ」(「あかぎ」「スワローあかぎ」はチケットレス申込みのみ)およびJR北海道の主な特急列車、「快速エアポート」がお申込みいただけます。
その他の予約サービス	
「JR東日本国内ツアー」予約	・最遅で出発の前日の18:00まで、(株)びゅうトラベルサービスが企画・実施する「JR東日本ダイナミックレールパック」や「びゅう国内ツアー」が予約できます。
駅レンタカー予約	・東日本・北海道エリアの駅レンタカーをクーポンレスで予約できます。

●案内サービス

案内サービス	
乗換・運賃案内	・出発地と目的地、出発日時もしくは到着日時の入力から列車や航空機を利用した乗換情報と運賃・料金をご案内します。また、えきねっと、モバイルSuica特急券を利用した場合のおトクな運賃・料金もご案内します。
駅たびnet	・季節感あふれる東日本エリアの旅情報をはじめ、各種キャンペーンやイベント、旅行プランなどをご紹介します。

■ 販売戦略

● 主な企画商品一覧

(2017年4月1日現在)

設定区間	主な企画商品
首都圏～東北地方間	週末バス、首都圏週末フリー乗車券、新幹線回数券
首都圏～上信越間	週末バス、新幹線回数券、あずさ回数券
首都圏近郊	休日おでかけバス、都区内バス、東京フリーきっぷ、南伊豆フリー乗車券、南房総フリー乗車券
東北各地間	小さな旅ホリデーバス
その他季節限定	大人の休日倶楽部バス

● 主な企画商品発売実績（当社分のみ）

商品名	発売開始年度	発売実績（枚）							
		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
青春18きっぷ	1982	281,456	238,954	242,666	256,786	277,953	293,048	300,304	312,930
フルムーン夫婦グリーンバス	1981	10,047	11,501	10,968	12,378	12,440	10,086	11,114	11,495
大人の休日倶楽部バス	2001	485,767	338,035	305,640	348,062	239,422	259,201	325,775	339,986
三連休東日本・函館バス	2000	83,295	60,309	50,158	60,780	65,032	46,494	43,502	32,870
休日おでかけバス	1991	1,202,689	1,115,009	997,762	911,208	1,025,724	1,024,743	1,107,091	1,111,639
週末バス	2000	497,971	488,510	429,391	468,797	377,129	369,658	387,670	371,256

注):2010年度までは「大人の休日倶楽部会員バス」という名称。「大人の休日倶楽部バス」は、2011年度からの名称。2015年11月からJR北海道でも発売開始。
「三連休バス」は2010年7月より「スリーデーバス」にリニューアル。その後2013年7月より「三連休乗車券」にリニューアル。2016年7月から「三連休東日本・函館バス」にリニューアル。
「ホリデー・バス」は2012年3月11日まで。2012年3月17日からは「休日おでかけバス」にリニューアル。
「土・日きっぷ」は2010年度から「ウィークエンドバス」にリニューアル。その後2013年度からは、「週末バス」にリニューアル。

● 新幹線通勤・通学定期券（FREX・FREXパル）発売実績

○ FREX（枚／月）

※発売開始は1984年度

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
東北新幹線	14,284	13,884	14,315	14,675	15,751	14,125	15,035	15,028
上越新幹線	8,412	8,404	8,335	8,338	8,966	8,050	8,768	8,819
北陸新幹線	1,632	1,666	1,674	1,641	1,733	1,594	1,752	1,789
計	24,329	23,955	24,324	24,653	26,450	23,770	25,555	25,635

○ FREX パル（枚／月）

※発売開始は1986年度

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
東北新幹線	1,465	1,442	1,242	1,352	1,504	1,273	1,425	1,419
上越新幹線	906	875	853	841	950	797	853	899
北陸新幹線	293	297	295	306	338	264	285	286
計	2,664	2,613	2,391	2,499	2,791	2,334	2,563	2,604

注):3カ月定期は1カ月当たりの延べ枚数に換算しています。

● ジャパン・レール・パス取扱実績（当社分）

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
普通車用取扱実績（枚）	208,747	206,670	105,586	194,708	258,849	314,005	539,495	663,775
グリーン車用取扱実績（枚）	17,007	16,566	9,733	16,738	24,683	31,343	54,650	61,090
合計(枚)	225,754	223,236	115,319	211,446	283,532	345,348	594,145	724,865

注):2014年度実績は消費税率改定後の商品取扱実績。

● JR EAST PASS取扱実績

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
普通車用取扱実績（枚）	31,579	37,460	14,383	29,254	24,258	30,799	49,852	86,190
グリーン車用取扱実績（枚）	1,040	1,359	749	1,188	247	—	—	—
合計(枚)	32,619	38,819	15,132	30,442	24,505	30,799	49,852	86,190

注1):1998年2月1日より有効となるものから取扱開始。 注2):2003年10月1日より国内発売開始。 注3):「JR EAST PASS SPECIAL」の実績も含む。
注4):グリーン車用は2013年6月30日で発売終了。 注5):2016年4月1日から「JR EAST PASS(Tohoku area)」 「JR EAST PASS(Nagano, Niigata area)」を発売開始。「JR EAST PASS」は2016年6月30日で発売終了。 注6):2014年度実績は消費税率改定後の商品取扱実績。

● JR TOKYO Wide Pass取扱実績

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016
発売枚数(枚)	4,553	24,254	54,902	107,219	212,769	236,201

※2015年11月19日から「JR Kanto Area Pass」をリニューアルし発売開始。
※「JR Kanto Area Pass」は2011年12月1日から発売。2015年12月18日で発売終了。
※2015年度取扱実績は「JR TOKYO Wide Pass」と「JR Kanto Area Pass」の合算値。

●「大人の休日倶楽部」「JR東日本ジパング倶楽部」

○「大人の休日倶楽部」「JR東日本ジパング倶楽部」のあゆみ

1985年 5月10日	ジパング倶楽部事務局設立
1988年 9月 1日	ジパング倶楽部6社に分割。各会社ごとに事務局を設置し、会員管理業務を開始
1994年 4月 1日	「ビュー・ジパング倶楽部カード」の会員募集開始
1994年 8月20日	JR東日本独自の会員誌「ジパング旅仲間」を発行
2001年 7月13日	新ブランド商品「大人の休日」スタート
2002年 3月 1日	「大人の休日」専用ホームページ開設
2005年 6月 1日	「大人の休日倶楽部ジパング」スタート
2005年10月 1日	「大人の休日倶楽部ミドル」スタート
2006年 6月 1日	「大人の休日倶楽部」割引エリアをJR北海道線まで拡大
2007年 6月 1日	「大人の休日倶楽部 趣味の会・東京」開設
2008年 4月 1日	「大人の休日倶楽部プレミアムメンバーサービス」スタート
2009年 2月13日	「大人の休日倶楽部」会員100万人達成
2012年 3月 2日	「大人の休日倶楽部メールマガジン」スタート
2012年 5月31日	「大人の休日倶楽部」会員150万人達成
2015年 1月28日	一人一人に最適な情報提供を行うマーケティングシステム稼働開始（Webログイン機能、旅行商品レコメンド機能等）
2015年10月 1日	JR北海道で募集開始
2016年 4月 1日	「大人の休日倶楽部」会員200万人達成

●「レール&レンタカーきっぷ」

2012年10月より駅レンタカーの予約方法は「インターネット・電話予約」のみになりました。また11月より発売期限もレンタカー出発の1時間前までとなり、駅レンタカーの料金体系も「6時間」「12時間」「24時間」単位とさらに利用しやすくなりました。

○「レール&レンタカーきっぷ」のあゆみ

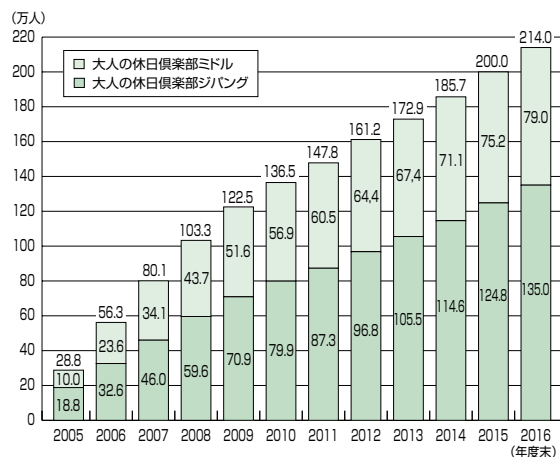
年 月	内 容
1995年 4月	SDクラス発売開始(1500cc・1日乗り放題6,800円(税別))
1996年 4月	SWクラス発売開始(ワンボックスワゴン車・1日乗り放題12,000円(税別))
1997年 4月	SSクラス発売開始(1000cc～1300cc・1日乗り放題5,500円(税別))
1998年 7月	SBクラス発売開始(1800cc・1日乗り放題8,500円(税別))
1999年 6月	SKクラス発売開始(軽自動車クラス・1日乗り放題4,500円(税別))
2003年 4月	駅レンタカー料金改定(一部クラスを除き時間制料金の値下げ) 時間制のM-Vクラス(ミニバン)新設 カーナビ料金の値下げ(1日1,000円→1レンタル300円)
2003年 10月	カーナビ標準装備と無料化、時間制のSAクラス廃止
2004年 4月	SMクラス発売開始(ミニバン車・1日乗り放題8,920円(税込))
2006年 3月	時間制のRVクラス廃止
2007年 4月	各クラス禁煙車発売開始
2008年 4月	時間制のHDクラス廃止
2009年 4月	ETC車載器全車標準装備
2010年 10月	インターネット予約開始 〔インターネット予約の場合、窓口予約より500円割引(24時間ごと)〕 料金体系を24時間制・免責補償料込に統一 (車種を、K・S・A・B・MV・WAクラスの6車種に)
2012年 10月	駅レンタカーの予約方法をインターネット・電話予約に統一
2012年 11月	・レンタカーの発売期限が「3時間前」⇒「1時間前」 ・料金体系「24時間」⇒「6時間」「12時間」「24時間」 ・ハイブリットクラス(H1・H2・H3)を新設。6車種⇒9車種

○台数実績（ジェイアール東日本レンタリース(株)管内）

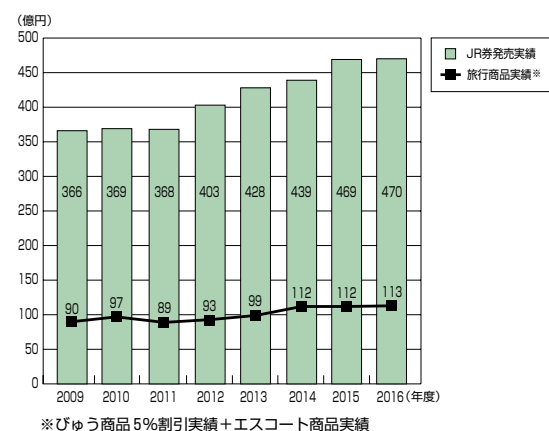
(単位: 台)

年 度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
レール&レンタカー利用件数	115,666	107,060	103,361	113,318	116,132	118,225	119,985	114,449

○会員数の推移



○商品発売実績の推移



※びゅう商品5%割引実績+エスコート商品実績

●デスティネーションキャンペーン（DC）

JRグループと地方自治体・地元観光開発者と旅行会社が一
体になって地域（おもに県単位）の観光開発とそれらの集中
宣伝や受入れ態勢準備を行い、旅客誘致・JR利用促進を図ろ
うとする大型観光キャンペーンです。1978年11月からの「き
らめく紀州路」（和歌山県）から始まりました。

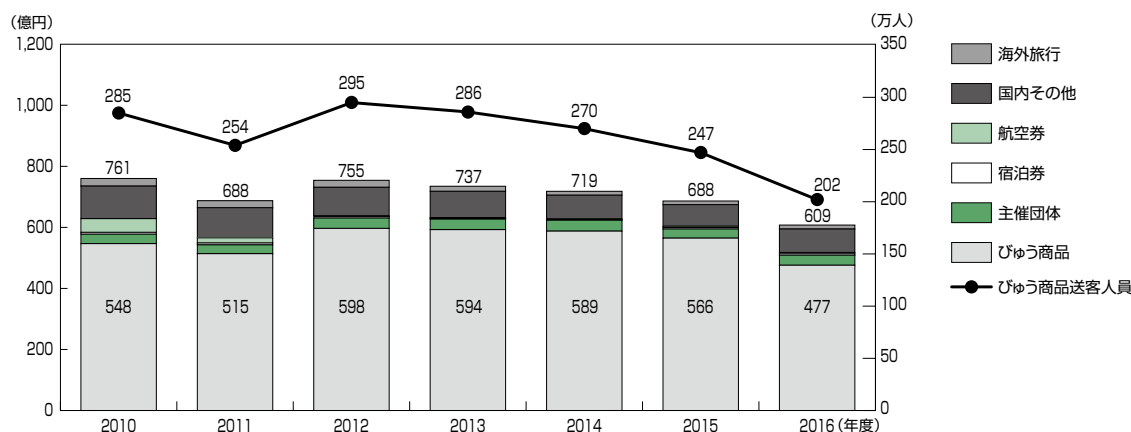
名称	期間
青森DC	2011年4月～7月
群馬DC	2011年7月～9月
いわてDC	2012年4月～6月
仙台・宮城DC	2013年4月～6月
秋田DC	2013年10月～12月
新潟DC	2014年4月～6月
山形DC	2014年6月14日～9月13日
ふくしまDC	2015年4月～6月
青森県・函館DC	2016年7月～9月
信州DC	2017年7月～9月
栃木DC	2018年4月～6月
新潟県・庄内DC（仮称）	2019年10月～12月

○主なリゾートトレイン

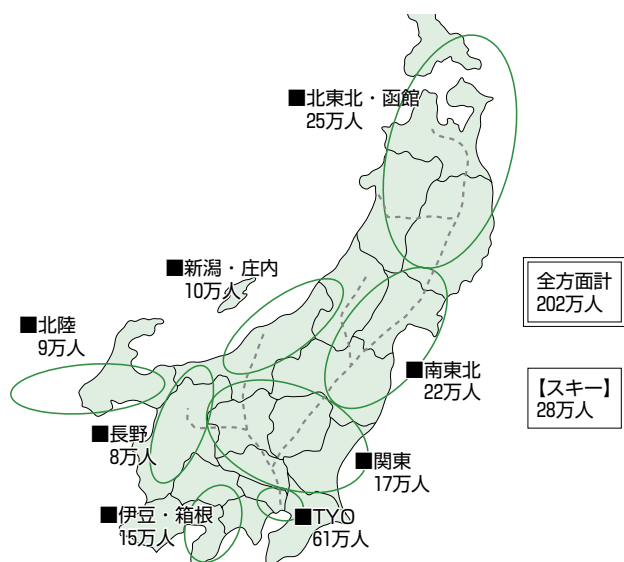
列車名	運転区間	乗車人員(2016年度)
リゾートしらかみ(1997.4～)	秋田～青森・弘前	約 15.4万人
SLばんえつ物語(1999.4～)	新潟～会津若松	約 2.7万人
きらきらうえつ(2001.11～)	新潟～酒田・象潟	約 2.8万人
リゾートみのり(2008.10～)	仙台・小牛田～新庄	約 1.7万人
リゾートビューふるさと(2010.10～)	長野・松本～南小谷	約 1.4万人
リゾートあすなろ(2010.12～)	新青森～蟹田・大湊	約 0.6万人
POKÉMON with YOUトレイン(2012.12～)	一ノ関～気仙沼	約 0.7万人
SL銀河(2014.4～)	花巻～釜石	約 0.8万人
とれいゆ つばさ(2014.7～)	福島～新庄	約 1.4万人

■旅行商品

●びゅう商品等旅行商品収入の推移



●2016年度びゅう商品等個人型商品方面別送客人員



●びゅうプラザの店舗数推移

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016
箇所数	137	127	124	113	102	96

※年度末時点での箇所数

●「JR東日本訪日旅行センター」 (JR EAST Travel Service Center)

・東京駅	・空港第2ビル
・新宿駅	・羽田空港
・池袋駅	・仙台駅
・成田空港	

※仙台駅は「びゅうプラザ仙台駅」内に訪日旅行カウンターを設置